

認定看護師の紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師 山本紀代美

皮膚・排泄ケア認定看護師の活動について、紹介いたします。

まず、皮膚・排泄ケア認定看護師とは、何ができる看護師なのか説明します。皮膚にできた傷全般、熱傷（やけど）、褥瘡（床ずれ）、人工肛門のケア、PEG（胃瘻）ケア、おむつかぶれ、失禁（尿や便が漏れる）、尿や便が出ない（便秘）などで、「皮膚・排泄」に関するケア全般を専門的に行うことができる資格を持った看護師です。

以前は、山口県東部で唯一 周東総合病院だけに勤務していましたが、現在では、岩国・光・徳山と3名増えて、計4名の皮膚・排泄ケア認定看護師が働いています。

さて、周東総合病院での活動内容を紹介します。午前中は、完全予約制で外来患者様のストーマ（人工肛門・人口膀胱）のケアを行っています。午後は、入院患者様のストーマ（人工肛門・人口膀胱）のケアや、褥瘡（床ずれ）のケアを定期的に回診し、病棟の看護師と一緒にケアを行っています。排泄に関するケアは、褥瘡（床ずれ）のケアに関連した内容だけを行っています。

その他として、入院患者様で褥瘡（床ずれ）ができる可能性が非常に高い、あるいはすでに褥瘡（床ずれ）ができている場合は、ケアの計画書を作成しています。また、院内の看護師を対象に勉強会を開催しています。

院外の活動では、開業医の先生や、訪問看護師さんなどから電話相談や、要望があれば勉強会でお話する事もあります。また、看護学校で臨時講師もしています。

スキントラブルに関して、外来患者様、在宅介護をされている方、医療従事者の方で相談がありましたら、遠慮なくご一報下さい。



糖尿病認定看護師 高丘瑞穂

糖尿病は、日常生活そのものが治療や病状に結びつくため、患者さん自身によるセルフケアが必要となります。しかし、療養行動がうまくいかず、悩んだり落ち込むこともあると思います。私の役割は、患者さんへ糖尿病について正しい情報提供を行い、患者さんの自己決定を支えることです。そして、糖尿病とうまく付き合いながら、その人らしい生活



が過ごせるようにサポートすることです。医師を始め、多職種と協同しながら、1人ひとりの生活に合わせた支援が行えるよう努めています

緩和ケア認定看護師 中嶋真美子

緩和ケアの認定を取得して3年目になります。「緩和ケア」についてはまだまだ知られていないことが多く、「緩和ケア認定看護師です」と自己紹介すると、「もう末期ですか」「私、そんなに悪いですか」と驚かれる方もたくさんおられます。

「緩和ケア」と聞くと、「終末期」「もう治療ができない」と思われる方が多いですが、実はそうではなく、今や「緩和ケア」はがんと診断された時から提供することが薦められており、患者様やそのご家族へ告知されたときに感じる精神的、社会的な苦痛に対応することが求められています。



がんと診断された時の動揺、ショック、精神的苦痛は計り知れず、頭が真っ白になり、その後医師から治療方針などの説明があったものの、「よく分からなかった」などと話される方が多いです。私は、そんな患者様やご家族の気持ちに寄り添い、がんの専門的な知識を持った上で苦痛を共有し、緩和させながら今後について一緒に考え、患者様やご家族がその人らしく生活できるように支援していきたいと思っています。

「身体症状」「つらい気持ち」「誰に相談して良いか分からない」など何でもお受けします。困った事があればいつでも相談してください。

感染管理認定看護師 山本三智子



近年、医療現場では、抗菌薬が効きにくい細菌（MRSAなど）や、新しいタイプのウイルス・細菌などが問題になっています。皆様もアウトブレイクや新型インフルエンザという言葉が聞かれたことがあると思います。感染管理は、患者さまや働く全ての人を感染源から守ることが感染管理認定看護師の役割で、何も起こらないことが当たり前、何か起こった時にどのような対応をしてきたのかが問われる分野です。

私は、2015年7月に感染管理認定看護師を取得し、現在、中央滅菌室で勤務しています。

患者さまとじかに接する部署ではありませんが、日々の医療器材の洗浄・滅菌業務等や委員会活動を通し、患者さま・地域の方々に安心して来ていただける病院環境を整えるべく、

知識・技術の向上に努め、感染管理活動を行っていきたいと考えています。

感染管理認定看護師 田中宏壮



医療安全管理室に所属し感染管理者として従事しています。医療関連感染対策の目標は「患者さま、ご家族、その他来訪者と病院で働くあらゆる職員を感染から守る」ことにあります。これらを達成するため院内感染制御チーム、感染リンクナースが中心となり感染防止のための活動を行っております。具体的には、週1回病院内のラウンドを行い感染対策上の問題がないかの環境調査、感染症の発症や集団発生がないかを監視し、発生した場合には感染症患者に対し必要な対策が講じられているかの評価・指導を行っております。

また、病院内だけでなく地域の専門家がない病院や施設、その他研修会などでも正しい知識や新しい感染症などの情報発信を積極的に行っていきたいと考えています。地域でお役に立てそうなことがあればご連絡ください。

認定看護師資格の取得を支援します！

JA 山口厚生連では、看護の質向上と看護職員の「やる気」を応援する目的で、日本看護協会が資格認定を行う認定看護師資格取得を希望する看護職員は、受講期間中を休職扱いとし、奨学金の貸与などの支援を行っています。

(JA 山口厚生連の定める認定看護師資格取得に係る支援に基づく)